

だからこそSDGs

——再生への羅針盤に

SDGsは国連加盟193カ国により2015年に採択。2016年から2030年までの15年間で達成することを約束し合った「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」だ。17の目標達成には、国や国際機関ばかりでなく、企業の主体的な参加が求められる。とはいえ、めまぐるしく変化する国際情勢と経営環境。だからこそ、SDGsを羅針盤に。

1 貧困をなくそう

2 飢餓をゼロに

3 すべての人に健康と福祉を

4 質の高い教育をみんなに

5 ジェンダー平等を実現しよう

6 安全な水とトイレを世界中に

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに

8 働きがいも経済成長も

9 産業と技術革新の基盤をつくろう

10 人や国の不平等をなくそう

11 住み続けられるまちづくりを

12 つくる責任つかう責任

17 パートナーシップで目標を達成しよう

16 平和と公正をすべての人に

15 陸の豊かさも守ろう

14 海の豊かさを守ろう

13 気候変動に具体的な対策を

SDGsを推進する上での課題

——日外協アンケート調査(2022年3月)から

社員の意識

- 従業員向け周知啓発活動の強化。
- SDGsの浸透および個人の業務への落とし込み。

目標・指標の設定

- 定量的な指標の設定、インパクトなど評価方法、リソースの不足。
- SDGsの社会的効果の数値化、KPI(重要達成度指標)の設定。

その他

- 収益事業と直結する関連サービスの構築。
- 二酸化炭素排出量の少ない製品の開発と顧客の理解。